

## 令和3年度南西部保健医療圏（朝霞保健所所管区域）

### 難病対策地域協議会議事録（書面会議）

- 1 開催日時 令和4年3月25日（金）議案書郵送
- 2 開催方法 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催
- 3 出席委員  
【委員】 海江田亮委員、中島市郎委員、菅田恵子委員、田村ひろみ委員、廣田恭子委員、富田美葉委員、根本かおり委員、齋藤武志委員、白石紀江委員、佐甲文子委員、森山夏子委員、佐々木幸子委員、齋田浩一委員、高橋麻美委員、皆川友豪委員、小林孝美委員、萩原朋子委員、杉田明子委員、端山明子委員、遠藤眞由美委員、平貴美子委員、中村智子委員、仲野眞由美委員、湯尾明委員  
【事務局】 朝霞保健所

#### 4 議 題

- (1) 難病在宅人工呼吸器使用児・者の災害対策について
- (2) 避難行動要支援者への災害時支援の取組状況調査について
- (3) 避難行動要支援者名簿の作成に係る難病患者等の情報提供について

#### 5 議事内容(委員記載の書面より抜粋)

- (1) 難病在宅人工呼吸器使用児・者の災害対策について

##### ア 課題

- ・在宅人工呼吸器使用児・者の実態把握
- ・災害時に提供できる非常電源量の把握
- ・災害時に必要な非常電源の確保
- ・災害時、医療機関の受け入れ態勢の把握
- ・災害を想定した避難訓練
- ・安否確認方法についてのシステム作り
- ・避難行動要支援者名簿に基づく個別計画と災害時個別支援計画とを連動して管理するための体制づくり
- ・災害時における関係機関の連携の取り方や役割が不明確
- ・災害時個別支援計画の策定（どのような時にどこに避難するか）

##### イ 課題に対しての取組

- ・独居高齢者のリスト化、独居高齢者の情報を紙媒体で保存
- ・在宅人工呼吸器使用児・者の実態把握に努めた。
- ・支援ベッドについて協力医療機関に確認し入院手配を行った。

- ・職種の連絡会で報告・情報交換を行った。
- ・災害訓練を実施した。
- ・医療的ケア児に対し、災害時の備えや移動方法等を把握する為、アンケート調査を実施した。
- ・市が主体となって災害時個別支援計画を作成中。
- ・医療的ケア児支援会議の実施。情報共有や地域課題を確認した。
- ・関係各課が集まり災害対応状況について共有する検討会議を実施した。
- ・日常生活用具給付事業の対象に発動発電機人工呼吸器外部バッテリーを加えた。
- ・医療的ケア児を対象として、災害時行動ファイルを作成。作成にあたっては訪問看護事業所及び計画相談支援事業所へ聞き取り調査を依頼した。
- ・指定避難所に発電機を設置した。

#### ウ 今後の計画

- ・近所・支援者の協力体制づくり
- ・災害時のバッテリーなど電源確保について個々の個別支援計画に応じた検討
- ・各関係機関への情報提供及び情報共有を継続し、具体的な行動を伴うように発信していく。
- ・災害別の訓練、避難方法を提案していく。
- ・災害時個別支援計画を策定する。
- ・障害者自立支援協議会専門部会において医療的ケア児支援の課題について協議していく。
- ・災害時要支援者名簿を整備する。
- ・関係各課の検討会議を継続して実施する。

#### (2) 避難行動要支援者への災害時支援の取組状況調査について 各市町から取組状況の報告

#### (3) 避難行動要支援者名簿の作成に係る難病患者等の情報提供について

- ・難病患者等を避難行動要支援者名簿に掲載するための情報連携について、3市から朝霞保健所へ相談あり。朝霞保健所と各課名簿担当者で打合せを実施。情報提供様式・対象者への制度周知や窓口配架資料作成等課題の洗い出しを行った。課題をクリアした上で来年度データ連携ができるよう引き続き協議を行う。
- ・当所は、県が個々の難病患者の同意を得ることなく、市町村の求めに応じて難病患者等の情報を提供できることについて、県ホームページや医療給付申請の手引き等での周知を、関係各課に依頼した。

#### 6 事務局まとめ

今回の書面会議により、上記の内容について情報共有等を行うことができた。委員は、各所属・各課にて、御活用・検討を行っていただきたい。

なお、今後、議事録等についてはホームページで閲覧できる状態にする予定である。